

## 第3学年 学級活動（2）指導案

1 日時・場所 令和5年7月

2 題材 「しっかり食べて健康になろう」  
～給食で食品ロスを減らそう～  
(エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成)

3 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
日常生活への自己の適応に関する諸課題の改善へ向けて取り組むことの意義を理解し、よりよい生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	日常生活への自己の適応に関する諸課題に気付き、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、意欲的に課題解決に取り組み、他者と協力し合ってよりよい人間関係を形成しようとしている。

4 題材について

(1) 児童の実態

学級目標「 」をキーワードに、よりよい学校生活を目指して過ごしている。明るく元気で、自分の気持ちをしっかり伝えられる児童が多い。中学年になって3ヶ月、全体的に受け身なところも多く、問題意識に気付く姿勢が未熟であり、日ごろの生活の中で一人一人に応じた支援を心掛けている。学級活動(1)の学級会の経験から、一人一人の意識が「自分(個)」の視点から、少しずつ「みんな(集団)」へと視野が広がってきている児童もいる。また、仲間と話し合ったり、協働したりすることで、一人一人が主体的に生活する力も身に付いてきている。

学級活動(2)「あいさつリーダーになろう」では、自分から進んであいさつするよさについて考え、どのようなあいさつをすると、友達や先生方と気持ちのよい学校生活をおくることができるのか話し合った。高学年の先輩方が、朝、昇降口であいさつ運動をしている姿をお手本にして、自分たちができることは何だろうと、具体的なめあてを考えて実践している。

食育に関しては、2年生の時に「のこさず食べよう」を実践している。担任と学校栄養職員が児童の苦手な食べ物に焦点をあて、子豚のブーフーウーが苦手な食べ物を克服することにより、栄養バランスが豊かに摂取できることについて学習してきた。本時では、2年生の時の経験を活かして、食に関しての意識が広がっていくことを期待している。

(2) 題材設定の理由

給食の時間をとても楽しみにしている児童が多い。3年生になり、低学年の頃よりも給食を食べる量が増えてきた。自分が食べられる量を調節しながら、おかわりをして給食を食べている児童が多い。その一方で、苦手な食材を避けて食べるなど、給食を残す児童もいる。

一人一人の残食は少なくても、学級全体になると量は多くなる。児童が食品ロスについての課題を持ち、給食の残食を減らすことの活動を主体的に実践することによって、SDGsの視点で考えることができるよう、本題材を設定した。

SDGsについての学習は、経験が浅い。今回の学習をきっかけとして、具体的にどのような問題が世界規模で起きているか、向き合い、自分事として捉え、「自分に何ができるか」という発想ができる児童に育成していきたい。

## 5 活動の実際

### (1) 事前の指導

活動の場	児童の活動	指導上の留意点(○)と目指す児童の姿(☆)	資料
実施 1週間前	自分たちの給食の様子を思い出しながら「たべものアンケート」に取り組む。	○アンケートを通して、自分の食習慣に目を向けられるようにする。 ☆アンケート記入により、自分の食生活を振り返ろうとしている。(主体的態度)	アンケート (児童の意識を高めるための資料)

### (2) 本時の展開

#### ① ねらい

給食の残食を減らすことが、十分な栄養を摂ることと食品ロスを減らすことにつながることを知り、そのために自分たちにできる解決方法を話し合い、自分に合ったためあてをもって実践できるようにする。

#### ② 展開

	児童の活動	指導上の留意点(○)と目指す児童の姿(☆)	資料
導入	【つかむ】 1 事前のアンケート結果や、残食量の資料から、気付いたことを話し合う。	○残食に関する学級全体の課題を確認し、課題解決への必要感を高められるようにする。(T1)  ○自身の健康に関係することに気付くことができるようにする。(T2)  ○「食品ロス」という言葉を紹介して、残食が食品ロスにつながることを確認する。(T1)  ○苦手だけど、食べている人もいることに着目できるようにする。(T2)  ○苦手だけど食べている人の理由を具体的に挙げる。(T1) ・もったいない ・栄養がとれない ・作った人に悪い  ○給食を残してしまうと、栄養のためにも、「食品ロス」のためにも、あまりよいことがないことに気付くようにする。(T1)	・アンケート結果  ・学級(学年や学校)の残食量の結果  ・残食の写真  ・残食を廃棄する様子の動画  (児童の意識を高めるための資料)

しっかり食べて健康になるために、自分にできることを決めよう

<p>展開</p>	<p><b>【さぐる】</b>                  2 食品ロスの問題点や、原因について考える。                  ・クイズ形式で、環境面・栄養面に影響があることを知る。</p> <p>3 大豆ミート給食のスライドをもとに、給食を通したSDGsの取組について考える。</p> <p><b>【見つける】</b>                  4 食品ロスを減らすために自分たちにできることについて話し合う。</p>	<p>○このまま給食で食品ロスを出し続けるとどうなっていくか、児童にクイズを出す。(T1)</p> <p>①ごみはどうか？                  1 今までと変わらない                  2 ごみはへる                  3 ごみはふえる</p> <p>②みんなの栄養はどうか？                  1 たくさんとれて元気もりもり                  2 今までと変わらない                  3 栄養がたりない</p> <p>③身のまわりの食べ物はどうなるの？                  1 たくさんあまる                  2 今までと変わらない                  3 捨て続けると足りなくなる</p> <p>○残さず食べることは、健康だけでなく、環境にもよいことに気付けるようにする。(T1)</p> <p>○アレルギーや体調などで残してしまうことがあることにも留意する。(T1)</p> <p>○食を通してSDGsにつながることを確認する。(T2)</p> <p>○大豆ミート給食紹介動画を活用し、大豆ミートを使うことで、肉を生産するために必要な穀物を減らし、世界の人々に穀物が行き渡るようになることを理解できるようにする。(T2)</p> <p>○大豆ミートを使った給食について補足説明し、栄養面でも、肉の代替となることを伝える。(T2)</p> <p>○食品ロスを減らしたら、どんないいことがあるか、確認する。(T1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみが出ない</li> <li>・栄養が摂れる。</li> <li>・食べ物が足りなくて、困る人が減る。</li> </ul> <p>○給食で食品ロスを減らすために、自分の経験を想起したり、友達の工夫を聞いたりして具体的な方法を考えられるようにする。(T1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大豆ミート給食紹介スライド（ねらいを焦点化するための資料）</li> <li>・大豆ミートと豚肉の栄養を比較する資料</li> </ul>
<p>終末</p>	<p><b>【決める】</b>                  5 話し合ったことを参考に、給食で食品ロスを減らすための具体的なめあてを決める。</p>	<p>○話し合いで出た意見を参考に、自分の課題に合った具体的なめあてになるよう助言する。(T1)</p> <p>○給食の盛り付けの量やおかわりの仕方などの質問があれば答える。(T2)</p> <p>○めあてを立てた理由に迫る。(T1)</p> <p>○数名が発表することで、考えためあての修正や実践の参考にできるようにする。(T1)</p> <p>☆自分の課題に合った具体的なめあてを決めている。(思考・判断・表現)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カード（実践への意欲付けのための資料）</li> </ul>

③ 事後の指導

活動の場	児童の活動	指導上の留意点 (○) と目指す児童の姿 (☆)
給食時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>大豆ミートを取り入れた給食を食べる。</li> <li>食べた感想を伝え合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分のめあてを想起しながら食べるよう投げかける。</li> <li>○「ごちそうさま」の前に、大豆ミートを取り入れた給食の感想を交流する。</li> </ul>
給食時間 日常生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>めあてを意識して実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○給食後や帰りの会など、折に触れて声をかけ、めあてを意識したり達成したりしている姿を励ます。</li> </ul>
1週間後 朝の会	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の実践を振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習カードに自分のめあてに対する振り返りを記入するよう伝えると共に、今後も継続して実践できるよう声をかける。</li> <li>☆自分の実践を振り返り、今後の食品ロスを減らすための見通しをもち、自分の課題を改善しようとしている。(主体的態度)</li> </ul>

## 6 資料

### (1) 児童の意識を高めるための資料

#### ①事前のアンケート

- 1 好きな献立は何ですか？
- 2 苦手な食材は何ですか？
- 3 苦手なものが出た時に、どうしていますか？

#### ②残食の写真



#### ③残食を廃棄する様子の動画



### (2) ねらいを焦点化するための資料

#### ①大豆ミート給食紹介スライド

#### ②大豆ミートと豚肉の栄養を比較する資料

### (3) 実践への意欲付けのための資料

#### ①めあてカード